

2010年12月1日

各 位

オリックス株式会社

ベトナムの大手ファンド運営会社に出資

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：梁瀬 行雄）は、昨日、ベトナムの大手有力ファンド運営会社 Indochina Capital Corporation（本社：ベトナム・ホーチミン、以下「Indochina Capital」）の株式 25%を取得し資本参加しましたのでお知らせします。

Indochina Capital は、ベトナムで不動産開発、ファイナンスアレンジメント、アドバイザリーサービスの実績を有する米国大手投資銀行出身者などにより 1999年に設立されたファンド運営会社です。欧米やアジアの有力機関投資家を顧客に持ち、ベトナムの 3 大資産運用会社の 1 社として、豊富な経験と実績を有します。同社は、不動産ファンド運営、エクイティファンド運営、インフラファンド運営、ファイナンスアドバイザリーの 4 つの部門にてアセットマネジメント事業、アドバイザリー事業を展開しています。

Indochina Capital の主力部門である不動産ファンド運営については、2005年に第 1号ファンドの運用を開始し、現在の合計運用資産残高は約 5 億ドル（約 420 億円）の規模を誇ります。傘下のグループ会社にて不動産開発機能を持ち、グループ内で良質な不動産を開発できることが大きな強みです。これまでオフィスやコンドミニアム、商業施設、リゾート施設など規模、品質ともにベトナムトップクラスの不動産を開発し、累計で 10 億ドル以上の投資実績を有します。

エクイティファンド運営については、ベトナム企業を主な投資対象とし、機関投資家や富裕層の個人投資家からの預かり資産残高約 50 百万ドル（約 42 億円）を運用しています。また、ファイナンスアドバイザリーについては、外資系企業がベトナムで事業展開する際の事業パートナー選定や資金調達などのアドバイザリー業務に数多くの実績を上げています。

現在、ファンド運営ビジネスやアドバイザリービジネスの拡大に加えて、高い需要が見込まれる環境、運輸などのインフラ整備に投資するファンド組成の検討を進めるなど今後も大きな成長・発展が期待できます。

オリックスは、投資対象国として今後高い成長が期待できるベトナムにおいて、高い専門性と強固な事業プラットフォームを有する Indochina Capital を戦略パートナーとして、各種ファンド運営や日系企業のベトナム進出のアドバイザリー業務を行っていきます。

今後も、有望なアジア市場において手数料ビジネスを中心にさまざまな事業を積極的に展開してまいります。

以 上

< 本件に関するお問い合わせ先 >
広報部：池田・堀井 TEL：03-5419-5102

Indochina Capital 概要

会社名 : Indochina Capital Corporation
所在地 : ベトナム・ホーチミン
代表者 : Peter R. Ryder
設立 : 1999年6月
従業員数 : 約80名
拠点 : ハノイ、ダナン、シンガポール
事業内容 : 各種ファンド運用・管理、アドバイザリー業務